

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>  
 第583号 2018年5月20日

## ご挨拶

主任司祭 ミカエル鈴木真

このたび、山手教会に赴任致しました鈴木真と申します。どうぞ、よろしくお願ひ致します。わたしは1994年から96年までの2年間、ここ山手で助任司祭として働きました。22年ぶりに戻って参りましたが、その当時からいらした信徒の皆さんからは「お帰りなさい」と言われ、少々戸惑いつつも、確かにわたしは教区の青少年の仕事を長年やっていることなどから、普段から会議などで司教館に来ることが多く、また2008年から横浜雙葉のチャプレンをしていますので、何かと、ここ山手の丘に来ていて、あまり新しい場所に来たという感じがしないのも事実です。ただ今までは「行くところ」だったのが「帰るところ」になって（いつも車で移動しますので特に…）、まだ何とも不思議な感覚です。久しぶりに山手の皆さんと、また共に歩めることをうれしく思っています。至らないところも多々あると思いますが、どうぞ、よろしくお願ひ致します。



## ご挨拶

協力司祭 モーセ金 允福

私は、韓国のソウル教区から横浜教区へ派遣されてきた金允福（キム・ユンボク）神父と申します。

霊名はモーセです。2006年に司祭になりました。

私は、「Fidei Donum」（フィデイ・ドヌム）により日本に来ました。「Fidei Donum」は、ピオ12世の回勅です。この内容は、司祭の数が多い教区が所属する司祭を司祭が少ない教区へ派遣することについてです。私も、これを通して横浜教区に来ました。

「Fidei Donum」の意味は信仰のプレゼントです。

そして、私は、この意味を個人的に次のように考えました。

「我々は、神様から色々なものをいただきました。でも、これは全部異なっています。まるで聖霊降臨時の恵みのように、すべての教会は、それぞれ別のものをいただいたと考えます。思うに、各教会はその教会にとって必要なものをいただきました。でも、それは他の教会にも必要なものです。ですから、我々がいただいたものをお互いに分かち合えば、信仰のプレゼントはもっと豊かになると思います」

上記の理由により、私は来ました。

これから、皆さんと、お互いに神様からのプレゼントとを分かち合うことを望みます。

